

【杉原千畝研究会会員だより】

ポーランド人として感謝を込めて

(菊地マウゴジャタ)

7月31日は、第二次世界大戦中、リトアニアにおいて何千人もの難民を救った日本の外交官杉原千畝氏の命日です。杉原千畝氏はなだらかな山を切り開いた広大な鎌倉霊園の一角に静かに眠っています。

杉原氏が救った難民のほとんどは、ポーランドをはじめドイツやリトアニアなどにいたユダヤ系の人びとでしたが、なかにはポーランド人も含まれていました。

今も、当時のことをポーランド国家は忘れていません。

1996年8月26日、故杉原千畝氏に代わって、奥様の幸子夫人に「ポーランド共和国功労勲章・コマンドルスキ十字勲章」が授与されました。ポーランド共和国功労勲章は五段階ありますが、これは三等に当たります。

そして2008年1月16日に、杉原千畝氏の直系のお孫さんが、祖父千畝氏に代わって、二等の「ポーランド共和国復興勲章・星付きコマンドルスキ十字勲章」を受章されました。ポーランド国は杉原氏に感謝を込めて、再び勲章を授与したのです。

日本とポーランドの交流の歴史は古く、特にソ連（現ロシア）を挟んでの隣国であり、日露戦争でポーランドの宿敵である大国ロシアに日本が勝利したことで、ポーランドでは親日家が多いのです。また、日本はポーランドからソ連の暗号解読を学ぶなど、両国は深い結びつきがありました。

私は遠く離れた祖国ポーランドを懐かしく思い出し、同胞を救ってくれた杉原氏への感謝の気持ちを重ねあわせ、静寂な鎌倉霊園に今年も墓参しました。墓前にたたずむと多忙な日常から解放され、なぜか心安らかになれるのです。それは杉原氏が希求した平和を祈る気持ちですが、私を優しく包み込んでくれるからではないか、と思うのです。



杉原氏は現在の世界情勢を、泉下でどのように思われているのでしょうか。